

**令和5年度
大阪府スマートシティ戦略推進補助金 採択事業の概要**

※市町村名 採択順

事業名称	岸和田市 令和5年度スマートモビリティHUB導入実証
市町村名	岸和田市
事業計画概要	交通環境が脆弱な泉州地域丘陵部における移動課題について、R3年度に人流データ分析を実施し、R4年度にデータをもとに新規路線バスと交通拠点を整備。 地域のにぎわいの創出やモビリティポートの有効性についての効果が確認できたため、R5年度は道の駅愛彩ランドにモビリティポートとデジタルサイネージを設置し、周辺環境を整えていく。
採択コメント	人流データ分析や実証を丁寧に行ったうえでの事業化である点や、交通事業者や大学など様々なプレイヤーとの連携を評価。 デジタルサイネージの投資対効果を発揮するためにも、掲載するコンテンツの継続的な拡充に期待。

事業名称	多機能搭載システム（オンライン聴診、バイタル管理、システム連携）を活用した、在宅診療を補完する遠隔診療体制構築事業
市町村名	河内長野市
事業計画概要	R3年度より、遠隔診療の実証実験を実施し、地元医師会や住民の賛同を得るとともに、事業の有用性を検証。 R5年度は遠隔診療の本格導入に向けて、域内医院と連携しながら、実際の患者への遠隔診療を実施。 医師会や、医師、看護師、介護事業者、福祉事業者等が連携して、在宅診療を研究し、高齢者の遠隔診療受診環境を整備する。
採択コメント	地元医師会、福祉協議会、地域包括支援センターと連携した運営推進体制の構築を評価。 日常の医療を支えるきめ細かい基盤として関係者の輪が市外にも広がるよう、全国有数のモデルとするべく実施体制が展開されていくことを期待。

事業名称	なわておもてなしセンターの構築（仮称）
市町村名	四條畷市
事業計画概要	「待たされない」窓口サービスの実現のため、①ハイブリッド型クラウドPBX②AIチャットボット③コンタクトセンターを一貫して実施。住民からの問い合わせにかかる取次時間の短縮化、問合せ方法の拡充、住民サービス拡充に注力できる環境構築を目指す。また、問合せ情報を基にEBPMを行い、住民のQOLを向上させる。
採択コメント	「待たされない」窓口という住民QOL向上に資するテーマに総合的に取り組んでいる点を評価。 AIチャットボットをタッチポイントとしてデータ利活用を図るとともに、住民のみならず職員の働き方改革につながることを期待。

事業名称	「事故発生リスクAIアセスメント」を活用した通学路の安全確保の検討
市町村名	泉大津市
事業計画概要	<p>公園新設に伴い、通学路となる道が通過車両の増加や道路構造の変化が発生することにより、通学路の安全性確保が求められる。</p> <p>泉大津市と泉大津警察署、事業者が連携し、実際の事故データやドライブレコーダーデータ等を活用し、AI分析により、潜在的な危険個所を効率的に把握、数値化。要因分析を行った上で、事前に対策を講ずることで交通事故の削減を図る。</p>
採択コメント	<p>市を挙げたセーフコミュニティの考え方に基づいた通学路の安全対策に資する点を評価。</p> <p>本事業を通じて市がデータを蓄積することで、今後の政策立案に活かすことを期待。</p>

事業名称	就労マッチングサイト運営事業
市町村名	泉佐野市
事業計画概要	<p>自治体主体で、ギグワークプラットフォーム（公式求人サイト）を構築。当該公式サイトに市内企業が求人情報を掲載でき、働き手がアプリで応募できる仕組みを構築。</p> <p>幅広い就労機会の創出を図ることにより、子育て・シニア世代等の柔軟な働き方を求める求職者と、市内企業をつなぐ。</p> <p>（参考：ギグワークとは、単発の仕事を請け負う働き方）</p>
採択コメント	<p>本事業を通じて市が求人に関する需給データを蓄積・可視化することで職業訓練等の政策につながる点を評価。</p> <p>事業者と求職者双方の登録を伸ばすためにも、費用対効果のある広報活動に期待。</p>